

神大勝ち点2で首位

The logo is circular with a green border. Inside the border, the text "KAGAWA UNIVERSITY" is written in green at the top and "SOFTBALL LEAGUE" at the bottom. In the center, the letters "KUBL" are written in large, bold, green font. Below "KUBL", the text "SINCE 1949" is written in a smaller green font. A green laurel wreath is positioned behind the text "KUBL".

第3週
第3日

—0で桐蔭横浜大を退けて勝ち点を2に伸ばし、首位に立った。

神大はルーキー前田秀紀が6回を3安打6奪三振に抑え、三回には政井

隆征(4年)が今秋4号となる2ランを放った。

第4週第1日は23日、横浜スタジアムで神大―関東学院大、神奈川工大―桐蔭大の1回戦2試合を行う。

[illegible]

170^{チセ}の右腕がマウンドに封じ込めた。

3回戦1試合が18日、
関東学院大ギオンパーク
で行われ、神奈川大が2

で雄たけびを上げる。神奈川
大のルーキー・前田がリーグ戦
で初先発し、強打者ぞろいの
桐蔭横浜大打線を6回無失点
場を任された。「緊張したけ

と自分が投げる意味が分かっていた」と前田。140^{キロ}台前半の直球をコースに投げ分け、四回まで毎回の6三振を奪う力投だった。

初先発前田 強気で快投

今春の苦い記憶を糧にした。救援した関東学院大2回戦では慎重になりすぎ、2者連続四球で降板。「気迫を前面に投げろ」という聖光学院高(福島)時代の恩師・斎藤智也監督(55)の教えを思い返し、強気の投球を取り戻した。

「安定感こそが真骨頂。ばくちを打ったつもりはなかった」という岸川監督の信頼に応える好投に背番号15は「自分の投球で勝利に導くだけで」と皮むけた様子だった。

(矢部 真太、写真も)